

2024 年 11 月 7 日

不妊治療と仕事、両立できていますか-厚生労働省両立支援ガイドブック-

厚生労働省より両立支援ガイドブックが届きましたのでここで紹介します。

約 3 人に 1 人が仕事と治療の両立は困難、約 4 人に 1 人が両立できず仕事または治療をやめた、または雇用形態を変えた、など不妊治療と仕事の両立で悩む方が多くいらっしゃいます。

ガイドブックでは、最初にある企業の取り組みを紹介しています。不妊治療中の社員からの相談がきっかけであったとのことで、1) 不妊治療目的に限定せず、幅広い用途で利用できる休暇制度 2) テレワーク制度 3) 短時間勤務制度 4) 時差出勤制度 等の制度を整え導入したとのことです。それにより、社員からはこの取り組みを評価する声が寄せられているとのことです。

企業で設けられている支援の取り組みとして、1) 不妊治療のために利用可能な休暇・休職制度 2) 両立を支援する柔軟な働き方に資する制度 3) 不妊治療に係る費用の助成制度 などがあり、お勤めの会社にどのような制度があるか確認することをお勧めしています。不妊治療だけでなく、健康や働き方改革のための制度として設けられている場合や、在宅勤務と短時間勤務やフレックスタイム制を組み合わせる使うこともあるようです。

また、ひとりの女性の働き方の紹介がありました。両立するにあたっては、1) 上席者への相談 2) 時間単位年休制度の利用 3) 医師に通院のタイミングを相談 4) 休暇は早めに申請 5) 不在時の仕事のフォローを同僚や上席者に依頼 等を行ったとのことです。自分ひとりで抱え込んでしまうことなく、上席者や人事担当等に相談してみると、手助けがあったり心が軽くなったりすることがあるかもしれないと思います、と記されています。

以上、ガイドブックの内容を簡単にまとめました。このガイドブックは当院待合室に置いてありますので、ご興味を持たれた方はご覧ください。